



新春を迎えて

南富良野町長 池部 彰

平成二十四年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、町民の皆さんはもとより日本の方々が衝撃を受けました「東日本大震災」が3月11日に発生したことが、始めに思い出されます。お亡くなりになられた方々におくやみと被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、国内の経済は依然として長引く円高や国内消費の減退などによる景気の低迷が依然として回復ができない状況にあり、国は、税と社会保障の一体改革をはじめとする財政問題、年金制度改革、震災の復旧復興対策、TPP問題など大きな課題を抱えており、地方自治体のおかれていく環境は大変厳しいものがあります。

このような環境にある中で、「町民参加のまちづくり」を推進するための住民と行政のパートナーシップによる協働のまちづくりを推進するための「南富良野町自治会活動推進条例」が昨年からスタートし、まちづくりにおける協働の理念を皆様と共有することができましたことは、意義深き大きな一歩を踏み出すことができました。

この一歩から行政が進めなければならぬことを十分に検証し、選択をしながら、まちづくりを推進してまいりました。

また、昨今の人口の減少や高齢化の進行などによる購買力の減少や流出、低価格競争など事業者の方々においては、たいへん厳しい経営環境にありますことから町商工会が行う南富良野「なんぶニコニコポイントカード」をはじめ、年末に発行した「プレミアム付き商品券」の支援を行いました。住民の皆様には地元商店や飲食店などのご利用をはじめ、地元産農産物の地産地消や農業被害をもたらすエゾ鹿の鹿肉加工品などの消費拡大について、深いご理解とご支援を心からお願ひ申し上げます。

町の主要産業でもあります農業を取り巻く情勢は、原油価格の影響による生産資材の高騰、生産者の高齢化や後継者問題、TPP交渉への参加表明など国の農業政策の変更により、極めて難しい課題を抱えています。農業の安定と振興は本町の生命線でありますことから、引き続き農業発展に努めてまいります。

平成二十四年 元旦

年頭にあたって

南富良野町議会議長 鹿野 重博

町民の皆様には、希望に満ちた平成二十四年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より議会運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内情勢は、3月11日に発生した東日本大震災と原発事故では多くの尊い人命が失われました。あらためて心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

未だに多くの皆様が仮設住宅などで不自由な生活を強いられており、国の復興の速度は非常に遅く解決の道筋もはっきりしない状況が続いておりますが、一日も早い復旧・復興を願っております。

また、国内農業、農山村の振興を損ないかねないTPP参加問題、畑作、酪農、畜産などを基幹産業とする北海道において、TPPが締結されれば、海外の安い農水産物が大量に流入し、農山漁村は崩壊するおそれが高いことから、本町議会としても「環太平洋経済連携協定に反対する意見書」を12月定例町議会において可決したところで

す。そんな中で、サッカーの第6回女子ワールドカップドイツ大会で「なでしこジャパン」が初優勝したことは、被災地ばかりではなく日本中に、そして

私たち町民にも大きな夢と感動を与えてくれたことは明るい話題でありました。

本町においては、大きな災害もなく平穏な一年であったと思えます。

そうした状況の中で基幹産業を見えますと、農業については、昨年の融雪は平年並であったものの、4月下旬から5月にかけての断続的な降雨により、植え付けや播種作業は大幅に遅れましたが、その後は、天候も良く適度な降雨もあつたことから、一部の作物を除き順調に生育し、全体的に平年を上回る収穫となったようです。

林業については、依然として厳しい状況であり、林業労働者の減少や高齢化による林業担い手対策については深刻化しています。また、地球温暖化問題など森林の多面的機能を今後も守り温室効果ガスの削減に努めていかなければなりません。

商業については、国の公共事業のさらなる削減などにより、建設業者の方々には特に厳しい状況にあると思えます。また、商店を経営している方々も、経済不況による購買力の低下、消費者の町外流出など大変厳しい状況が続いていますが、商工会ではこの対策として、町内商店の販売促進を図るためポイントカード事業を継続して実施しているところであり、昨年暮れに行ったプレミアム商品券の販売についても、町内の消費拡大と購買促進に大きな効

果があつたものと思っております。商工会員の皆様の協力的体制など一層の努力をお願いし、この厳しさを乗り越えていただきたいと思ひます。

このように厳しい町内経済が続いている中で、ふらの農業協同組合のポテトチップス製造工場が本格稼働し二年を経過しましたが、今後の農業経営基盤の強化と新たな雇用の場の確保による地域経済の活力の拠点として、大きな期待を寄せているところです。

また、3月には、大乗会が運営する「からまつ園」の改築も終了し、利用者のニーズに合ったサービスの向上と福祉の充実が図られることと思ひます。

昨年4月24日の投票日に実施された、町議会議員選挙で私たち8名の議員が町民の皆様の付託を受けてから8ヶ月が経ちました。多様化する住民ニーズに応えるよう、町民の代表として、執行機関と一体となり、本町の発展と住民福祉の向上を目指して、議員活動を行って参りますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

新年がスタートしましたが、町民の皆様におかれましては、健康に十分留意され、本年も皆様にとつて最良の年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年 元旦

